

新たな挑戦

校長 鈴木 薫

美瑛中学校に来てから5月号は毎号修学旅行先の函館で原稿を作成してしました。しかし今年度は修学旅行を10月に延期しました。5月30日に予定していた体育祭も延期もしくは中止、その他様々な行事の予定が大幅に狂いました。すべて新型コロナウイルスの影響です。昨年度2月27日から1ヶ月以上の臨時休業を経て4月6日に予定通り新年度が開始されました。しかしわずか2週間あまりで再度臨時休業となり、ゴールデンウィーク明けに5月末まで延期されました。授業の日数(授業日)だけで25日分休むこととなります。そして、6月1日に学校が再開されても、いつも通りできるかというところはきません。新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に基づき、様々な制約を受けることとなります。柔道や水泳のように実施が困難な単元があります。当分歌うことができない音楽科はそれだけで致命的です。キャリア教育の一環で実施している職場体験も難しいかもしれません。普段の授業も長時間のグループ活動は行うことができません。給食も全員前を向き、喋らないで食べなければなりません。そして毎日消毒をしなければなりません。あげると枚挙にいとまがありません(あげるときりがない)。2学期最大の行事である文化祭も、できるような状況になるのかも不透明です。中体連大会や吹奏楽団体コンクールも今年度は中止が決まりました。

ちまたでは欧米に合わせて9月新学期なんていう案も出ていますが、現場ではとりあえずその学年に必要な学習内容を確実に取り組むとともに、授業時数を確保するために様々な工夫を考えなければなりません。考えると正直憂鬱になります。しかし、子どもたちにとって今の学年は一生に一度しかない貴重な1年です。「我慢する辛い1年だった」という思い出だけを残したくはありません。なんとか楽しい思い出も残したいものです。

今の学年で取り組まなければならないことは、形を変え工夫しながら実施し、確かな学力をつけます。そして、このような中でも、このような中だからこそできる取組で楽しい思い出も残せるよう、職員で知恵を出し合い、学校が一丸となって全力で取り組みます。新たな挑戦です。

【お知らせ】現在、美瑛中学校は「COOLBIZ」期間中です！

職員の服装は、軽装となっております。
ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

休校期間中の取組

美瑛中学校では、4月6日(月)に始業式、入学式が開催され、全校生徒195名で今年度がスタートしました。

しかし、その2週間後の4月20日(月)より再び休校期間に入り、現在も継続しております。この間、保護者や地域の皆様には、臨時休校へのご理解ご協力をいただき、感謝しております。

さて、本校では6月から予定されている学校再開に向けて、下記の取組を行っております。

1. 分散登校の実施

2回に渡り分散登校を実施しました。学年ごとに体育館に登校し、前後左右の間隔を大きく空けて健康や学習状況の確認、配布物、ストレッチ等を行いました。



2. 学びの機会の確保

休校期間中はパソコン室を開放し、希望する生徒は「eライブラリ」の課題等に取り組んでいます。



3. Zoomミーティングの配信

5月12日からはオンライン会議用アプリ「Zoom」を活用し、クラスごとに「Zoomミーティング」を開催しております。多くの生徒が参加し、短い時間ですがお互い顔を見て交流する良いひとときとなりました。



4. 生徒との教育相談・保護者面談の実施

5月18日の週は、担任と生徒との教育相談、保護者との面談を行っております。家庭での状況や学習の進み具合の確認、心配事について話し合う機会を設けています。

未だ新型コロナウイルスの終息が見えない中ですが、学校再開後は生徒たちが不安なく、生き生きと活動できるための準備をしております。

これからも美瑛中学校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。